
PRESS RELEASE

ロンドン、2026 年 9 月 9 日午前 6 時 00 分

2026 年のプラチナ市場は 8 トンの供給過剰となる見込み — 3 年連続の大幅な供給不足を受け、在庫は依然として危機的な水準まで減少

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond（トレヴァー・レイモンド）CEO は、次のように述べています。

「2026 年にプラチナ市場が供給過剰に転じると予測されるのは、マクロ経済や地政学的な不確実性の高まりを背景として、今年上半年に投資資金の流出が発生したことが主な要因です。小幅な供給過剰が予測されていますが、これまで 3 年連続で大幅な供給不足だったため、プラチナ市場が、異例の水準まで減少し、流動性がますます低下している地上在庫に依存している状況が緩和する見込みはほとんどありません。これは、特に AI やデータセンターのインフラにおけるプラチナの利用拡大を背景に、プラチナの戦略的重要性が高まり続けている中で起きています。プラチナは今後も貴金属に対する全体的なセンチメントに連動して推移すると私たちは予想しており、特に利上げが実現しないか、金利が予想を下回る場合には、年末までのプラチナの投資需要が増加する可能性があります。」

- 2026 年通年のプラチナ市場は 8 トンの供給過剰と予測され、地政学的・マクロ経済的な不確実性の高まりに連動した 2026 年上半年の投資資金流出を反映
- 2026 年通年で 3 トンの純投資引き揚げを予測
- 価格上昇と中国における国内消費の低迷が市場に影響を与え、宝飾品需要は 15%減少する見込み
- 2026 年通年では工業需要が 5%増加し、自動車需要の 4%減少を相殺すると予測
- 2025 年の供給不足は 45 トン超に修正され、地上在庫は一段と減少 — 供給過剰が予測されても、2026 年末時点の在庫は世界の需要のわずか 3.4 か月相当

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2026 年第 2 四半期の *Platinum Quarterly* を発表するとともに、2026 年通年の予測を更新しました。

2026 年第 2 四半期、プラチナ市場は 2 四半期連続で 8 トンの供給過剰を記録しました。総供給量は前年比ほぼ横ばいの 59 トン（+1%）でしたが、総需要は前年比 16%減（-10 トン）の 52 トンに減少しました。当四半期の供給過剰の最大の要因は、結果として 4 トンの純投資引き揚げをもたらした、上場投資信託（ETF）からの 7 トンの資金流出でした。一方、工業需要は前年比 6%増（+1 トン）の 19 トンに達したものの、予想を下回った宝飾品需要（前年比 32%減（-7 トン）の 14 トン）と、前年比で軟調だった自動車需要 23 トン（-6%、-2 トン）を相殺するには至りませんでした。

2026 年通年では、プラチナ市場は 8 トンの供給過剰が予測されます。これは、ETF からの資金流出が反転し、上半期の 17 トンの供給過剰が部分的に相殺されるためです。リサイクルの増加を背景に、総供給量は前年比 2%（+4 トン）増の 229 トンになると予測されます。総需要は、主に前年と比較して投資需要が大幅に減少したため、前年比 18%減（-49 トン）の 220 トンに減少すると予測されます。

2026 年に予想される小幅な供給過剰の地上在庫（AGS）への影響は、前年の調整によって緩和されます。この調整の結果、2025 年の推定供給不足は 45 トン（前回予測比+8 トン）へと拡大しました。2026 年の AGS は年末までに 63 トンまで増加すると予測され、世界の需要の 3.4 か月分強に相当する水準となる見込みです。

2026 年に予測されるプラチナ総供給量の 2%増分は、すべてリサイクルに起因

2026 年第 2 四半期、鉱山総供給量は前年比 2%減（-1 トン）の 45 トンとなりました。リサイクル量は前年比 9%増の 14 トン（+1 トン）となり、自動車触媒および産業用リサイクルの増加が宝飾品スクラップの急減を補って余りあるものでした。

2026 年通年の鉱山供給量は、南アフリカにおける若干の増加が他の地域における減少によって相殺されるため、前年同期比ではほぼ横ばいの 173 トンになると予想されます。リサイクル量は、年初の価格関連の力強いスタートの後、2026 年後半にかけて緩やかになりつつも、通年では前年比 8%増（+4 トン）の 56 トンに達すると予測されます。

米・イラン紛争と中国の景気減速による逆風を受けながらも、自動車需要は底堅く推移

米・イラン紛争に伴う原油価格の変動と広範なインフレ圧力を受けて、小型自動車の生産台数予測が下方修正され、2026 年には触媒搭載車を中心に、前年比 1%の減少が予測されています。その結果、2026 年のプラチナの自動車需要の見通しは悪化しましたが、地域ごとの動向にはますますばらつきが見られます。下方修正の大部分は中国、それに続いて欧州に起因する一方で、北米とインドでは、ハイブリッド化、プラチナ搭載量の多い大型車の人気、および好調な商用車生産により、その減少分を一部相殺している。

その結果、世界の自動車向けプラチナ需要は、前年比 4%減（-4 トン）の 90 トンに減少すると予測されます。これは、前回予測から比較的小幅な下方修正（-2%、-2 トン）となります。

貴金属価格の上昇と生活費への懸念が、宝飾品需要に引き続き影響

2026 年通年では、プラチナ宝飾需要は前年比 15%減の 59 トンに減少すると予測されます。この減少の大部分は中国によるもので、同国では昨年の在庫積み増しの反転、消費者需要の低迷、金取引選好の再燃が、加工需要の急激な減少を招くと予想されます。日本とインドでも、プラチナ価格の上昇と基調的な需要の軟化を受けて消費が減少するため、低調が予測されます。対照的に、欧州と北米は、ブライダル需要と、プラチナの金に対する大幅なディスカウントが続いていることに支えられ、比較的底堅さを維持しています。

AI 関連のガラスおよび電気用途を背景に、工業需要の成長予測を上方修正

2026 年通年の工業需要は、AI 用途がガラスおよび電機・電子需要を押し上げることから、前年比 5%増（+4 トン）の 74 トンと予測され、前回予測から 7%（+5 トン）の上方修正となります。

ガラス需要（+23%）、化学需要（+9%）、医療需要（+4%）、電機・電子需要（+19%）、および水素需要（+8%）における前年比での成長が、石油需要の減少（-28%）を補って余りあるものとなる見込みです。原油需要は、ホルムズ海峡で続いている輸送の混乱の悪影響を受けている一方で、ロシアの精製部門はウクライナによるドローン攻撃により圧力を受けています。

貴金属市場への逆風がプラチナ投資需要に影響

2026 年第 2 四半期は、金利上昇が見込まれる環境下で投資家が価格の下落を目の当たりにする中、地政学およびマクロ経済の情勢がプラチナおよび貴金属市場全般の足かせとなりました。これは、7 トンの ETF 解約と、地金・コイン需要の大幅な前年比での減少（-71%、-3 トン）という形で顕在化しました。総じて、当四半期は 4 トンの純投資引き揚げとなりました。

2026 年通年では、3 トンの純投資引き揚げが予測されています。下半期には ETF への資金流入が予測されるものの、2026 年 1-6 月期に見られた大規模な解約を部分的に相殺するにとどまり、結果として通年では ETF から 12 トンの純流出が予測されます。同様に、関税への懸念が後退するにつれて、昨年の急激な在庫積み増しが一部反転することを反映し、2026 年通年で取引所在庫は 3 トン減少する見込みです。一方、2026 年通年のプラチナ地金・コイン投資は、22%減 (-3 トン) の 10 トンまで減少すると予測されますが、ほとんどの市場である程度の回復が見込まれています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルの **Trevor Raymond** (トレヴァー・レイモンド) **CEO** はまた、次のように述べています。

「2026 年に予測される小幅な供給過剰については、今年上半期のマクロ経済の逆風という環境を考慮すべきです。プラチナ需要の多くの分野で、引き続き底堅さが見られます。自動車需要は比較的堅調を維持し、工業需要はさらに好調になっています。AI 分野における世界的な展開が、ますます重要になるプラチナの役割を浮き彫りにしています。中国が 2030 年までに AI インフラ開発に 3,000 億米ドル近くの予算を計上しているほか、米国でも民間資金による推定 5,000 億米ドルの AI 技術が構築されているため、白金族は幅広い用途で新たな需要を生み出しています。当セクターへの動向に期待が寄せられており、私たちは今後も注視していきます。」

プラチナ需給バランス (トン)		2022	2023	2024	2025 026予想	2025年／2024年成長率 (%)	2026年予想／2025年成長率 (%)	2025年第2四半期	2026年第1四半期	2026年第2四半期	
供給											
鉱産高		172	174	180	173	173	-4%	0%	45	41	46
	南アフリカ	122	123	129	123	125	-4%	1%	32	32	34
	ジンバブエ	15	16	16	16	16	1%	-1%	4	3	5
	北米	8	9	8	7	6	-20%	-5%	2	1	1
	ロシア	21	21	21	21	20	0%	-5%	5	4	5
	その他	6	6	6	6	6	3%	-2%	2	1	1
生産者製品在庫における増減 (-/+)		1	0	0	0	0	-57%	-100%	+1	+0	-1
鉱山総供給量		173	175	180	173	173	-4%	0%	46	42	45
リサイクル		56	47	48	52	56	9%	8%	13	14	14
	自動車触媒	43	35	36	38	44	6%	15%	10	11	12
	宝飾品	12	10	9	11	9	20%	-18%	3	3	2
	工業	2	2	2	3	3	7%	8%	1	1	1
総供給量		229	222	228	225	229	-1%	2%	59	56	59
需要											
自動車		86	100	97	95	90	-2%	-4%	24	23	23
	自動車触媒	86	100	97	95	90	-2%	-4%	24	23	23
	ノンロード	↑	↑	↑	↑	↑	N/A	N/A	↑	↑	↑
宝飾品		58	58	62	69	59	10%	-15%	21	14	14
工業		72	78	80	70	74	-12%	5%	18	18	19
	化学	21	26	20	18	19	-13%	9%	5	4	4
	石油	6	5	5	6	4	14%	-28%	1	1	1
	電気	3	3	3	3	4	6%	19%	1	1	1
	ガラス	15	15	23	13	16	-42%	23%	3	4	5
	医療	9	9	10	10	10	4%	4%	2	2	3
	水素経済	0	1	1	2	2	77%	8%	0.3	0.6	0.6
	その他	18	19	19	19	18	0%	-2%	5	5	4
投資		-16	12	22	36	-3	62%	N/A	-1	-8	-4
	地金およびコインの増減	8	10	6	12	10	96%	-22%	4	3	1
	中国における500g以上の地金	3	4	5	5	3	2%	-36%	1	1	1
	ETF保有高の増減	-17	-2	9	6	-12	-32%	N/A	3	-9	-7
	取引所在庫の増減	-10	0	2	12	-3	>±300%	N/A	-10	-4	2
総需要		201	247	262	270	220	3%	-18%	61	46	52
需給バランス		28	-25	-34	-45	8	N/A	N/A	-2	9	8
地上在庫		**158	133	99	54	63	-45%	15%			

1. ** 2018年12月31日現在の地上在庫 114 トン (Metals Focus)
2. † オフロード自動車需要は、自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせ先 : **Elephant Communications** :
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記 :

Platinum Quarterly について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスル (WPIC) が発行する *Platinum Quarterly* は、世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するために、独立した立場で作成され、無料で提供される業界初のレポートです。WPIC が委託し、白金族金属市場の権威ある独立機関である Metals Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル)
について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の高まる需要に応えるため設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Valterra Platinum、Implats、Northam Platinum、Sedibelo Platinum、Tharisa、Bravo Mining and Podium Minerals です。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC ロンドン事務局 : World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所 : World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、白金族金属市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 11 の法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。詳細については、www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しています。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 75%~79%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾品、投資の 4 つです。過去 5 年間の自動車触媒からのプラチナ需要は、総需要の 36%から 44%を占めています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 30%を占めています（過去 5 年間の平均）。同期間において、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の -8%から 14%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルおよび Metals Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。